

カツオのたたき作り体験 安全管理マニュアル

※あくまでもサンプル(参考)となっております。

各コースや条件をご確認いただき、
それに沿った内容で作成いただきますよう
お願いいたします。

事業概要

事業名	カツオのワラ焼きタタキづくり体験
事業者名	
住所	
連絡先	
責任者	
事業内容	・カツオのワラ焼きタタキづくり体験の実施
契約保険会社	
ガイド氏名	

かつおのたたきづくり体験

シーン	大項目	小項目	内容（■資料名）
1. リスクの把握・評価	①プログラム実施の可否判断	各種許可申請、法令・条例に基づく資格取得の必要の有無確認	飲食店営業許可〇年〇月～〇年〇月
		レース扱いの確認	なし
		地権者の確認	不要
	②参加者レベル	参加者レベルの設定	小学生以上 ※小学生未満の場合は、要問合せ
		外国人対応	中国、台湾からの参加者あり。必ずガイド付きでの受入をしている。
	③装備	装備品の確認	■ 備品チェックリスト
		装備品の装着	なし
		参加者の私物使用の場合の基準	なし
	④天候	中止、変更の判断基準	■ 実施前の判断リスト
		天候悪化時の別ルート	屋内実施のみ
		地震発生時の対策	■ 地震対応マニュアル
	2. 従前の予防対策・補償の検討	①申込書（同意書）及び	申込書（同意書）の作成
②体調管理		体調確認（参加者）	■ 体調チェックシート
		体調確認（事業者）	■ 健康・清掃・配置チェックシート
③安全説明		チェックリスト作成	■ 安全説明リスト
④予見・回避		危険箇所の想定と対策	■ 同上
		対策に必要なトレーニングや専門家アドバイス	衛生管理講習や、外国人受入研修などの講習を受講
		救命講習の受講	現時点ではなし
		緊急連絡体制の設定	■ 緊急時対応マニュアル
		地域住民、警察、消防、病院、保健所との連携協議	■ 緊急連絡先
⑤衛生管理		衛生管理の徹底	・食事をとる店内は、パーテーションで区切る ・とりばしでとる。 ・大皿でみんなが取るのではなく、できるだけ小皿で用意する。
⑥保険内容の確認		保険メニューの確認	■ 保険内容
		補償範囲の明確化	■ 保険内容
		補償内容の説明	■ 保険内容
	レンタル機材の補償	レンタル品なし	
⑦免責事項の留意点	免責事項の説明	■ 参加申込（同意書）	
	免責が無効となった場合の対処	周知済	

かつおのたたきづくり体験

シーン	大項目	小項目	内容（■資料名）
3. 体験プログラム の受付から当日の 対応	①申し込みの受付	申込内容の確認	■参加申込（同意書）
		天候等条件の確認	■実施前の判断リスト
	②実施前	申込内容の再確認	■参加申込（同意書）
		携帯品や使用備品の確認	■体験備品チェックリスト
		体調管理（事業者）	■健康・清掃・配置チェックシート
		体調管理（参加者）	■体調チェックシート ■健康・清掃・配置チェックシート
	③実施中	安全説明	■安全説明リスト
		プログラム実行	参加者8～10人に対し、インストラクター2名を配置 ・包丁を持っている時にふざけないように、徹底する。 →1名は担当をもち、全体を見ながら巡回する。 ・雨天時は床がすべるため走らないように徹底する。 ・ワラ焼きをする際に、炎でやけどしないようにする。 →風向きから立ち位置を考える。 ・使用する道具は、必要な時のみさわってもらう。
		緊急時の対応	■緊急・地震各マニュアル
	事故対応	①実施中	事故対応の実施
事故処理後の記録作成			■事故処理後記録項目 →ただし、被害者の対応を最優先すること
②実施後		被害者及び関係者の心情に配慮した対応	被害者の心情を優先した言葉使いや配慮を心掛ける。
		保険会社や弁護士への確認・相談	加入している保険内容を確認のうえ、保険会社（状況によっては弁護士）に今後の対応を相談する。
③フォロー		謝罪、補償対応	場合によってはトラブルに発展することもあるため、自身の判断だけではなく、保険会社と相談しながら適正に対処する。
④事故報告書		事故調査報告書の作成	■事故調査報告書 予め調査項目を設定して事故調査報告書を定めておき、万一事故が発生した場合には、できるだけ迅速且つ正確に報告書を作成する。
		調査結果の共有・公開	作成なし

カツオのたたきづくり体験備品設置 チェックリスト

NO	必要なもの	チェック
1	包丁	
2	エプロン	
3	バンダナ	
4	タオル	
5	まな板	
6	バケツ	
7	布巾	
8	皿鉢	
9	わら	
10	鉄きゅう	
11	消毒液	
12	体温計	

体験受入前の判断

悪天候(大雨・台風など)

気象庁より下記の防災気象情報がいずれか一つでも発令された場合は体験の受入を中止とする

防災気象情報	判断時間	判断指標	体験受入
大雨(土砂災害、浸水被害) 洪水 暴風 暴風雪 大雪	体験受入前日 ※県外・遠方客・修学旅行などの場合は体験希望者と相談のうえ、判断	警報(警戒レベル3相当)	中止

地震対応マニュアル

1. 揺れが起きた直後の初動(0~2分)

まずは自分の身の安全を最優先すること。(「揺れたらまず火を消す」は昔の常識)

- 「伏せろ！」の号令: スタッフは大声で「地震! 姿勢を低く!」と指示。
屋内で机などがある場合は、机の下等に隠れるように指示を行う。
- 火元からの離脱: 藁焼き中の客に対し、手元の松明や藁から手を離し、焼き台から1.5m以上離れるよう誘導。
- 落下物注意: 屋外の場合は看板や照明、木々からの落下物に注意し、広い場所へ誘導。

2. 二次災害の防止(揺れ収まり後)

揺れが収まったら、津波が来る前に迅速に「火の始末」を行う。

- 消火班の動き: 藁焼きの火に備え付けの消火砂または水槽(バケツ)を被せ、完全に消火。
- ガスの元栓閉鎖: 調理場でガスを使用している場合は即座に閉栓。
- 深追い厳禁: 火の勢いが強い場合は深追いせず、即座に避難を優先。

3. 津波避難への移行(できるだけ速やかに→揺れが収まってから3分以内)

高知県の沿岸部では、地震発生から数分で津波が到達する可能性があるため「遠く」よりも「高い場所」を目指す。

項目	具体的なアクション
避難先	指定の避難タワー(〇〇タワー)へ誘導。
避難方法	「徒歩」が原則。 車は渋滞を引き起こし、逃げ遅れの原因となる。
誘導	スタッフが「津波避難」と書かれた旗やメガホンを持ち、先頭と最後尾を固める。
観光客への配慮	特に県外の方は土地勘がなく不安になっているので、冷静かつ緊急性を持って「私についてきてください!」と力強く声をかける。

4. 前準備(ルーティン)

- 避難経路の掲示: 体験スペースの目立つ場所に、現在地から避難タワーまでの徒歩ルート図を掲示。
- ハザードマップの熟知: 予想される津波浸水深(例: 5m以上など)をスタッフ全員が暗記。

5. スタッフ用チェックリスト

チェック	項目
<input type="checkbox"/>	避難タワーの鍵の場所(または自動解錠か)を把握しているか
<input type="checkbox"/>	藁を消火するための水・砂は常に十分な量があるか
<input type="checkbox"/>	応急救護キット(AED含む)の持ち出し担当は決まっているか
<input type="checkbox"/>	外国人観光客向けに「Tsunami! Run!」などの指差しボードを準備しておく

6. 避難訓練

毎年9月には、スタッフ全員による地震(津波)避難訓練を行う。

参加申込書(同意書)

カツオのたたきづくり体験 参加申込書(同意書)

体験参加にあたって、下記項目をご確認ください。

<input checked="" type="checkbox"/>	確認内容
<input type="checkbox"/>	参加者として健康状態は旅行であり、参加に問題が生じることは予想されません。また、万一の緊急医療のため知ってほしい(アレルギー、過敏症等の特異体質、既往歴、宗教上の理由など)がある場合には、事前に主催者に報告いたします。
<input type="checkbox"/>	安全のため、体験中はインストラクターの指示に従います。
<input type="checkbox"/>	体験中に負傷等した場合は、参加者に対する補償は掛けられた傷害保険の範囲内であることを確認、了承します。
<input type="checkbox"/>	広報での使用を目的に、ツアー中、写真撮影をさせていただきます。顔の映り込み等、撮影を希望されない方は、あらかじめスタッフにお伝えください。

上記内容を確認し、カツオのたたきづくり体験に参加します。

年 月 日

参加者署名: _____

連絡先: _____

住所: _____

18歳未満の場合は、保護者の同意が必要となります。

保護者署名: _____

体調チェックシート

参加日： 年 月 日

スタッフが検温のうえ、参加者の体調に異常がないか、口頭で確認。
問題なければ、チェック欄に「○」

No.	参加者氏名	体温	体調チェック	メモ
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

1つでも「はい」があれば、
本日のツアーには、
参加できません。

全て「いいえ」であれば、
無理のない範囲で安
全にツアーに参加して

健康・清掃・配置チェックリスト

1. スタッフの健康管理チェックリスト

	今日の健康状態はどうですか？次の症状がある人は無理をせず、休みましょう。 ①発熱(37.5℃以上)や席など比較的軽い風邪の症状がある ②倦怠感や息苦しさ、咳、味覚・臭覚異常、下痢がある
	マスクの着用、手洗い、消毒はしましたか？

2. 清掃チェックリスト

	テーブルの清掃
	水周りの清掃
	各体験道具は清潔ですか？

3. テーブル・イスの配置チェックリスト

	3密(密閉・密集・密接)の状態になっていないか？
	体験者の距離は1メートル離す

4. 参加者の当日健康管理チェックリスト

	今日の健康状態はどうですか ①発熱(37.5℃以上)や咳など比較的軽い風邪の症状がある →可能であれば、体温チェックを全員行うこと ②倦怠感や息苦しさ、咳、味覚・臭覚異常、下痢がある
	マスクの着用、手洗い、消毒はしましたか

安全説明リスト

No.	項目	説明内容
1	刃物使用上の注意	包丁を持っている時にはふざけないように注意する。
2	火器使用上の注意	わら焼きする際には、風向きにも気をつけ、炎でやけどしないように注意する。
3	道具の使用上の注意	使用する道具は、必要な時のみさわってもらう。
4	会場の注意	雨天時は床がすべるため走らないように徹底する。

緊急時対応マニュアル

事故発生

ガイドが救急救助体制をとり、事故者の救助及び他の参加者の安全を確保

事故者の状態を確認

重体・重症の場合

通報(消防119・警察110)

搬送準備

責任者へ連絡 ()

保険会社へ連絡 ()

かすり傷程度の軽傷の場合

ガイドが現場で手当

最寄りの病院で治療

緊急連絡先

連絡先	電話番号	備考
〇〇市民病院		急患、休日対応は高知県立△△病院（電話番号 ）
■ ■ 消防署		緊急時は119
■ ■ 警察署		緊急時は110
△△漁協		
〇〇保健所		

保険内容

【損害保険】

作成日 令和〇年〇月〇日

保険会社	保険種類	補償内容	保険期間	備考欄
〇〇〇保険㈱	●●●傷害保険	死亡・後遺障害 入院保険金日額 通院保険金日額 円 円 円	1年間	契約期間の更新を怠らない事

(株)〇〇〇〇
担当 △△

契約書のコピーを貼り付け

事故処理後記録項目

記録事項	内容	備考
事故発生からの動き	時刻と内容	・ガイド、事故者、ほかの参加者の動きまでできるだけ細かく記録 ・当日だけではなく、後日の事故者への対応も記録
事故現場の写真	現場及び事故車両の写真	・当日の撮影が困難な場合は、後日でも可
事故相手の連絡先	相手がいる場合は氏名、住所、連絡先を記録	・相手側の保険会社の連絡先も確認

事故調査報告項目

章番号	大項目	小項目
1	事故調査委員会の構成	
2	事故概要	事故発生時の目撃情報
		事故発生後の主な時系
		事故発生までの当事者の様子
		現場検証結果
3	危険箇所と事前対策	事前調査の内容
		救護体制
4	安全対策	問題点
		今後の事故発生防止策
5	第三者の所感	